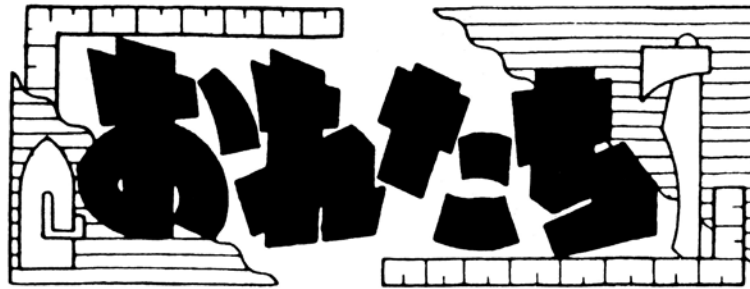


無料法律相談日の案内

3月19日(木)14時～16時

希望者は前日までに予約を

2月初組員数=1778人(-15人)



発行所

東京土建一般労働組合荒川支部

東京都荒川区荒川6-3-1

TEL(3892)9131 FAX(3892)9381

発行者・津田宗久／編集長・小熊賢一

<http://www.doken-arakawa.org/>



支部の新たな発展を 支部旗開きに114人

本文2面に

税金を学ぶ 税金大学習会開催



ス登録をしていないことを理由に値引きさせられた」などの組合員の声が各支部へ寄せられていると報告してくれた。

また、毎年のように変わる税制についても触れた。25年度税制改正では、基礎控除や給与所得控除の見直し、扶養親族等の所得要件の変更、特定親族特別控除の創設があったので、注意を促した。

会の最後に、今年の荒川支部の確定申告学習相談会の日程が金書記から公表された。仕事にまつわる困り事、確定申告の相談は、ぜひ組合を利用して欲しい。

毎年恒例の税金対策部主催の税金大学習会が1月26日、支部会館3階で開催され、野本章平氏(本部税金対策担当書記)を講師に迎えた。参加人数は29人。

【東尾久1 藤川直樹】野本章氏は「インボイス登録をしてみたが消費税の納税がこんなにかかると思わなかった」「元請からインボイスを登録しないと仕事してもらえない」「インボイ

労働条件の改善を

荒川区自治体キャラバン

1月20日に荒川区役所で懇談を行い、区側は7人、キャラバン側からは7人の

参加となりました。東京春闘からの事前アンケートの回答をもとに懇談が始まり、令和7年度中の公契約条例制定を目指しているという回答がありました。

組合からは制定後の実効性確保のために現状行われている「労働環境に関する報告書」の提出状況や区の発注業務で働く従業員の労働条件等が法令に反するか

の調査に対して指導及び改善がなされているか質問しました。

経理課契約係長からは、報告書の提出対象が拡大となり、報告書は昨年度の倍提出があったとのこと。

労働条件等については、就業規則の不足事項や36協定の提出遅れなどに対して改善の申し入れをしたとのこと。

また、区内の企業は9割以上が中小業者ということから、物価高騰や人材不足の状況の中、事業を継続するための支援策が必要で

建設業に対しては工具の購入など中小業者が使いやすい支援を近隣区の助成を参考に求めました。



▶特定健康診査・特定保健指導に関するQ&A全体版
出典／厚生労働省ホームページ
令和6年10月25日資料
照会先／保険局医療介護連携政策課医療費適正化対策推進室

なかなか特定健康診査の実施率が上がらない。厚生労働省から東京土建国民健康保険組合に課された実施率の目標は「70%以上」ですが、今年度(令和7年4月)から荒川支部では33.5%に留まっています。ちなみに令和6年度の実施率は最終的に46%までいきましたが、やっぱり70%には届かず▼この厚労省のQ&A資料では「保険料税の未納者や滞納者に対しては、保険者の判断で特定健診・特定保健指導の対象から外すことも可能か」の問いに対して「保険料の未納や滞納があることをもって、特定健診・特定保健指導の対象から除外することはできない」と回答しています。

つまり「国にとっては、国民の健康の財政よりも国民の健康の方が大事だ」と言っているようなものです。もう少し踏み込むと「健康診査は国民の権利だ」と言っているようなものです▼だから、自信を持って特定健康診査を受けて欲しい。

【東尾久1 藤川直樹】



支部発展を 目指して



いさつしました。

次に本部後藤英雄常任、ブロック代表として大谷隆司文京支部執行委員長がいさつ。

また、多くの議員さんが、熱の入った挨拶をされました。

また、昨年に引き続き、滝口学区長が駆けつけてく

服部和美常任執行委員による開会の挨拶から津田執行委員長の新年の挨拶となり、「4号特例の縮小や、働き方改革等の問題など様々な問題が山積しています。こういう時だからこそ組合に結集し、集まって問題を解決していこう」とあいさつしました。

開催しました。

当日は、今年70歳を迎えられる組合員やご来賓の皆さまをお招きし、114人の参加で開催されました。

この日は、区内の政党派、地域共闘団体の協力を得て、建設産業への運動の飛躍を誓う場となりました。

【教宣部発】
1月18日（日）、アート
ホテル日暮里ラングウッド
の鳳凰の間にて18時より荒
川支部26年新春のつどいを
開催しました。



と話されました。

乾杯は八木橋副委員長より行い、アトラクションのプレゼント抽選では高岡東尾久1分会分会長が盛大に盛り上げました。

最後に小熊副執行委員長の閉会のあいさつに続いて団結ガンバローで閉会となりました。



れました。滝口区長は「公契約条例を実現し、現場の声が区とマッチしていくように取り組んでいきたい」と話されました。

乾杯は八木橋副委員長より行い、アトラクションのプレゼント抽選では高岡東尾久1分会分会長が盛大に盛り上げました。

最後に小熊副執行委員長の閉会のあいさつに続いて団結ガンバローで閉会となりました。

上段(右から)
慶野信一都議
斎藤和樹都議

中段(右から)
菅谷元昭区議
清水啓史区議

下段(右から)
鬼頭昭行区議
松田智子区議



滝口学荒川区長と

大谷寿一さん
旗開きは初めて代々サ
ッシ屋をやっていて、父
も組合に入っていました。
25歳です。



昨日も会社関係の新年会でラングウッドに来ました。しばらく組合は離れていましたが、昨年再加入。会社の経営はホント大変。従業員の社保とか労災とかで組合を活用しています。



東尾久1分会

金地洋介さん

東尾久1分会

館野智靖さん

旗開きは初めてです。組合のことはまだよく分からないけれど、楽しいイベントに参加しています。家族で参加できるので、良いですね。



東尾久1分会

吉田悟さん

旗開きは3回目です。
リフォームセンターで仕事をもらったりしています。後継者対策部の会議にも出ていて、潮干狩りも行きました。楽しいです。



荒川分会

石田政利さん
今年も分会活動は出来るだけ協力していきな
いと思っています。
す。もっと若い
世代がこうゆう
場に出て来てく
れること期待し
たいですね。

3月1日

ボウリング大会



勝利の女神、オレに微笑め！

勝つのは俺だ！ピンも運もまとめて倒す！

足立&荒川支部
合同企画

他支部との交流♪

北千住



交流会

仕事の仲間が
できるかも♪



マルアイボウリング

ボーリング2ゲーム⇨懇親会⇨プレゼント抽選会！

申込書

後継者対策部主催！

参加条件	組合員本人に限る（59歳まで）、参加費5,000円、現地12：45集合
参加者	
職種	
連絡先	

東京土建荒川支部 荒川区荒川6-3-1

TEL 03-3892-9131 FAX 03-3892-9381



←LINEからも
参加申し込み受け付けます！

火災・地震共済、自転車保険に加入いただいている方に

BRAND

東京ドーム

巨人公式戦

世界ライオンズ

観戦チケットが

当たる!

抽選で
1試合4名・15試合
計60名を
ご招待

応募資格

火災・地震共済が、自転車保険の
加入手続きが終了している組合
員等

応募方法

どれん共済会ホームページにある
「応募フォーム」から又はFAX
(03-5332-3976)でお申込み

応募期間

2026年
2月1日～2月28日

※申込の受付は2月28日(金)まで
24時間受付となります

試合日程 ◆ 14:00開始、★ 18:00開始

4月 3日◆ ★VS 横浜DeNAベイスターズ 4月 30日◆ ★VS 広島東洋カープ

4月 4日◆ ★VS 横浜DeNAベイスターズ 5月 4日◆ ★VS 東京ヤクルトスワローズ

4月 5日◆ ★VS 横浜DeNAベイスターズ 5月 5日◆ ★VS 東京ヤクルトスワローズ

4月 10日◆ ★VS 東京ヤクルトスワローズ 5月 6日◆ ★VS 東京ヤクルトスワローズ

4月 11日◆ ★VS 東京ヤクルトスワローズ 5月 15日◆ ★VS 横浜DeNAベイスターズ

4月 12日◆ ★VS 東京ヤクルトスワローズ 5月 16日◆ ★VS 横浜DeNAベイスターズ

4月 28日◆ ★VS 広島東洋カープ 5月 17日◆ ★VS 横浜DeNAベイスターズ

4月 29日◆ ★VS 広島東洋カープ

試合開始時刻は必ず主催者発表をご確認ください

応募の必要明記事項

FAX.03-5332-3976

支店名	申込者お名前		
郵便番号・住所	〒 ー		
電話番号 (日中つながる電話番号)	申込者年齢		歳
加入している制度 (複数つづけてください)	・火災共済	・地震共済	・自転車保険
申込人数 (2人または4人)	人	観戦希望の日程 (第1～第3希望まで 日付を記入ください)	第1希望 第2希望 第3希望
		月 日	月 日 月 日

当選発表

3月上旬、最正なる抽選(3月2日)の上、発送をもってかえさせていただきます。

東京土建一般労働組合

どれん共済会

TEL.03-5332-3976

お問合せ：どれん共済会又は各支部へお問い合わせください

社会保障対策部主催 健康教室

参加費
無料

「こりこり学習会」

【日時】 2026年2月20日（金）19時00分～20時00分

【場所】 荒川支部3階

【定員】 先着30名

【講師】 荒川区保健師 大熊 美月さん

【申込締切】 2月13日（金）

スケジュール

19:00 開会

19:05 講話

19:40 質疑

20:00 閉会

労災と加齢に関連した肩こりや腰痛の予防など健康に働ける体づくりについて学びませんか？

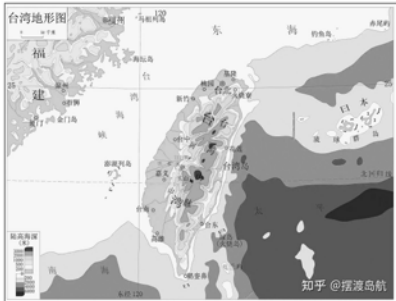
申込書

2月13日締切

参加者氏名

参加者氏名

LINE・FAX (03-3892-9381) ・支部窓口・電話 (03-3892-9131) 等でお申込ください。



台湾海峡の平和にとって何が必要か

台湾有事を考える 阿熊

高市首相が「台湾有事」は「存立危機事態であり、自衛隊の武力行使もあり得る」と発言したことに、日中関係は危機的状況になっています。

しかし、当事者の台湾の人々はどう考えているのだろうか。ここに、台湾の社会運動団体の「抵抗者聯合」に掲載された論考の一部を掲載します。この論考は私たちも共通する考え方だと思います。

(略)

平和を持続させるための明確な方針は次のようになるだろう。

○台湾は、中国共産党に「戦わずして台湾を屈服させられる」と認識させてはならない。同時に、民族主義的権威のレッドラインを越えてはならない「独立を宣言しない」。

○台湾は世界経済における重要性を失ってはならず、むしろそれを強化し、台湾が戦場になっても構わないという存在に陥らないようにしなければならない。

○アメリカ、中国、台湾の一般市民らは戦争に熱を上げることなく、むしろ反戦志向を明確にし、好戦的な

ないし、価値あるものを守ろうとする。

中国共産党が民族主義的権威を統治の正当性として必要とする限り、そのレッドラインを越えることで平和にとってのリスクは否応なく高まる。民族自決権を願う人々は、この現実を直視しなければならない。

「台湾にとっての盾」は軍備だけに限るものではない

少し話を戻すと、1兆2500億台湾ドルの軍事予算は平和の保証とはならない。平和を維持強化するために台湾がなすべきことは、社会の大多数が安定した生活を送り、向上を実感でき、充実した社会保障に支えられる国家を築くことである。つまり、台湾の生活様式と生活の質が「守るに値する」と人々が実感できる社会を作ることだ。それは空虚な政治的説教や民族主義の動員ではなく、実際の生活、雇用、教育、福祉、医療、治安、国家と都市の建設によって実現される。

この深化は広範かつ分野横断的なものであるべきだ。例えば、教育においては、人工知能時代の最前線で活躍できる労働力や技術専門人材の割合や人数の面で多く育成することが挙げられる。

また、社会的公共サービスや社会保障の面では、こうした経済発展の成果を通じて、その質と提供能力を高めるべきである。さらに、それができなければ、中国共産党が「戦わずして台湾を屈服させる」余地が生まれてしまう。人は価値のないものを奪い合うことも

に、国家発展や都市建設においては、台湾の科学技術の応用と生産性を、交通、通信、住宅建設、政府運営、医療などの分野で、いっそうの向上と質的転換へと導く必要がある。

要するに、台湾の全人民がより進歩的で文明的、快適で豊かな生活を送れるようにすることだ。米国からの「請求書」を拒否できないなら、世界が台湾を必要とし、台湾海峡の平和を望む新たな要因を創り出さねばならない。

最後に最も重要なのは、台湾、中国、米国の一般市民らが、確固とした反戦の認識と平和を守る共通意識を持つことである。

これは一国だけでは不可能であり、国際的な連帯が必要だ。台湾海峡における戦争の潜在的危機においては、最大の代償を払うのはこの3つの国の一般市民である。遠いウクライナ戦争でさえ、米国民の生活を圧迫している。ましてや世界のサプライチェーンの要である台湾なら、その影響は計り知れない。

台湾と中国の一般市民は、異なる国家と陣営に属していても、決して互いに刃を向け合うべきではないし、それぞれの自国の政府や為政者が先制攻撃をししかけること、あるいは好戦的な態度を取ることに、声をそろえて反対すべきである。我々が本当に大切にしなければならないことは、日々の生活であり、仕事、教育、そして生活する今日

と未来であり、着ること、食べること、住むこと、旅すること、育てること、楽しむこと、そして生き、老い、病になり死に關することであり、満ち足りて安心ある生活の中で尊厳ある自由を享受することであり、民族主義的狂熱や幼稚な戦争への幻想と興奮剤によって麻痺させられた生活の欠乏と空虚さなどではない。

台湾の平和を守りたいと願う一般市民らにとっての「台湾の盾」のなかで、しばしば見落とされがちで、しかし最も重要な構成部分の一つは、海峡の向こう側にいる、ただ家族と生活を大切にしたいと願う、そして好戦的な若い愛国者たちを批判的な目で見る14億人の大多数の普通の中国人の存在である。

「台湾の盾」を鍛えるうえで、台湾の一般市民らは、この最も人数が多く、最も潜在力のある盟友をしっかり味方につける努力をすべきである。

この平和を守りつづけ、台湾海峡を戦場にしないために。

作者 阿熊 翻訳 稲垣 豊 訳者・社会運動家
原文 <https://resistanceunit.net/ore-tw/20251226/>



石垣島自衛隊基地

【通信員 竹達 浩】
2025年11月7日の衆議院予算委員会では、中国と台湾情勢が国際社会から注目を集めている中で、台湾有事のどのような状況が、日本の「存立危機事態」にあたるか、立憲民主党の岡田氏が国会の予算委員会でも高市首相（以下高市氏とする）に質問した。

高市氏は即座に「戦艦を使って武力の行使も伴うものであれば、これはどう考えても存立危機事態になりうるケースだ」と答え、歴代首相が見解を避けてきた台湾有事が、存立危機事態にあたる可能性を明言した。

「存立危機事態」とは、わが国が他の国から直接武力攻撃を受けていなくても、他国の戦争の累進上に、わが国の国民の生命、財産、自由及び自由追求権が根底から覆される明白な危険がある事態を指します。

高市氏の発言からは、存立危機事態の状況によっては、自衛隊が集団的自衛権行使の可能性を示したものであると解釈される面もあります。中国政府は高市氏の発言の撤回を求め、日本からの輸入規制を強化、ある高官は「軍国主義の復活を許さない」と発言し、外交関係も低迷しています。

【過去の歴史に学ぶ】

中国との緊張の高まりと、海外からの批判にもかかわらず、高市氏は発言の取り消しも謝罪もしないという強気の姿勢を維持しています。その背景には高市氏の支持率が60%以上と歴代内閣では無かった屈指の高支持率があるからです。

「戦後80年を問う」 『国の危機意識』 と『民意の脆弱性』

やがて、1941年、真珠湾攻撃が報じられると、世論は日米開戦をパンサイの歓声をもって迎えたのです。それに反し、日米の国力・戦力の圧倒的な差から、無謀な戦争を憂える少数意見は、圧倒的盲目的民意に消滅されたのが過去の歴史です。

すべての歴史は消すことのできない事実です。情報が錯綜し選択がむずかしい時代となりましたが、情報の選択の自由は保障されています。唯一、選択の自由を許さないのが戦争です。公権力は国民に危機意識をおり国民の隷従を企てるが、国民は過去の歴史から学び、自らの意識の脆弱性（危うさ）を認め、憲法が保障する主権者の権利と平和追及義務を全うすることを求められています。

26春闘決起集会

ゼロホールに700人

【堀井龍二通信員】

1月28日(水)午後7時から中野ゼロホールにおいて26年国民春闘決起集会が、国民春闘共闘委員会、東京春闘共闘会議主催で開催された。



最初に矢吹春闘共闘会議代表が主催者あいさつ。次に基調報告として黒沢幸一事務局長が「26国民春闘をめぐる情勢と課題」として講演、「国は、国民に対して保証すべき『健康で文化的な最低限度の生活水準』日本国憲法第25条イコールナショナルミニマム、最低

賃金の底上げを訴えました。

行動提起の後、各単産、各職場から決意表明が行われ、全農協労連のお話で、お米が高い理由を聞いて、それは減反政策の失敗であり、その他肥料などが高騰している、安いコメを売っていたら生活できなくなる」と語っていました。

最後に集会アピールの提起を受け、団結カンパニーで終わりました。

荒川支部のみなさん



荒川分会新年会

中華料理で舌鼓

【荒川分会 並木義男】

荒川分会では昨年まで年間行事で忘年会を行っていた。



した。

参加者は90歳代から親子の参加と忘年会では見られなかった年代層でした。

11時半、加藤さんの乾杯で開始、本日のメニューは好きなものを食べ放題フリードリンクでめいめいに好きなものを注文していると一足遅れて参加した宇佐

東尾久1分会新年会

手作り鍋で交流

【東尾久1分会高橋妙子】

1月25日(日)正午より、群会議で集う東尾久四丁目町会にて、新年会(鍋パーティー)を行いました。



た。

参加者は、普段仕事が忙しく群会議に参加できない方や、今回初めて新年会に参加された方、若い世代の方々、また他の分会からもご参加いただきました。

寒い部屋の中ではありましたが、鍋を囲みながら仕事の話、組合の話、プライベートの話など、さまざまな話題で交流を深めることができました。次第に心も身体も温まっていくのを感じました。組合の中でも、顔は知っているものの、なかなか

話すきっかけがなかった方もおり、改めて交流の大切さを実感しました。和気あいあいとした雰囲気の中で新年会を行うことができ、とても良かったです。

【東尾久1分会田村智子】鍋パーティーに参加しました。途中からだだったんですぐ準備のお手伝いも出来ました。

他分会の方々も参加して頂き総勢21名の参加でした。高岡分会長の乾杯の挨拶で始まりあつという間に、皆さんも盛り上がり、皆さんも盛り上がり、美味しかったです。参加者の方々も色々、お話が楽しかったです。

【教宣部 小熊賢一】1月の終わりの週末に、個人で尾久地域での研修を兼ねた旅行へ参加しました。

毎年、参加しています。今年、山梨県の武田信玄の隠し湯、下部温泉へ行きました。

気温は低く、とても寒かったのですが、好天に恵まれ、きれいな富士山を近くで見れて感動しました。

下部温泉は、1000年前に開湯と伝わっていて、宿泊した下部ホテルには、

単純泉と硫酸泉の2種類の泉質を10種類ほどの浴槽で楽しむ事ができます。どちらも、無色透明でさっぱり系のやさしい浴感です。施設もしっかりしているのも良さそうです。やっぱり、寒い冬には、温泉へ入ってほっこりするの、いいですね。

小さな旅『山梨・下部温泉』



下部ホテル

私のすもう体験記

第二回

【堀井龍二通信員】



新序出世披露(翌場所から序ノ口として番付に初めて名前が載ることが決まった新入力士の身分)が終わり、大阪場所の宿舎、大宝寺から、東京の立浪部屋に帰り着きました。

着いたら、自分の寝るところを兄弟子に教えてもらい、そこに荷物を置かせてもらいました。

一場所が終わると一週間休みをもらえるのですが、大阪場所から巡業に行く人たちの荷物の開けに手伝いや東京へ送る荷物やらの詰め込みで休みは、一週間ありませんでした。

しかし、「中学校の卒業証書を取りに来い」と母に言われ、部屋の親方に言って、実家に取りに戻りました。

聞いた話だとほかの部屋では、場所負け越すと休みがもらえないという部屋があったようですが、勝ち越す組だけで巡業の支度をしたのか、巡業行かせなくして、東京に戻ったのは、わかりませんが、負けることの悔し

